

ハローワーク別有効求人倍率
(平成30年9月)

所在地	有効求人倍率
岡山労働局	1.99
岡山	2.23
津山	1.57
美作出張所	1.77
倉敷中央	2.43
総社出張所	1.24
児島出張所	1.49
玉野	1.83
和気	1.75
備前出張所	1.95
高梁	2.30
新見出張所	1.88
笠岡	1.38
西大寺	1.88

平成21年に0.54倍だったハローワーク高梁の有効求人倍率(※)は徐々に上昇し、平成25年には1倍を超え、平成29年は2.20倍、最新の平成30年9月は2.30倍と非常に高い水準で推移しています。

また、平成30年7月に記録した有効求人倍率は2.55倍で、過去の記録を遡ると平成3年3月の2.66倍に次ぐ数字となり、27年4カ月ぶりの高い求人倍率となりました。

有効求人倍率は？

高梁市の雇用と現状について

人手不足だったバブル期以来、平成3年のバブル崩壊と平成19年の金融危機を経て、市内の企業が少しずつ元気を取り戻し求人数が増えてきていますが、職を求め人は少しずつ減少してきています。

また、ハローワーク高梁の求人倍率は他の地域のハローワークと比べても非常に高い数値となっています。(左表)

※有効求人倍率とは、求職者数に対する求人数の比率のこと。有効求人倍率が高いときは、求人数が多く求職者数が少ない状況です。

特集

どうなる？

高梁の雇用

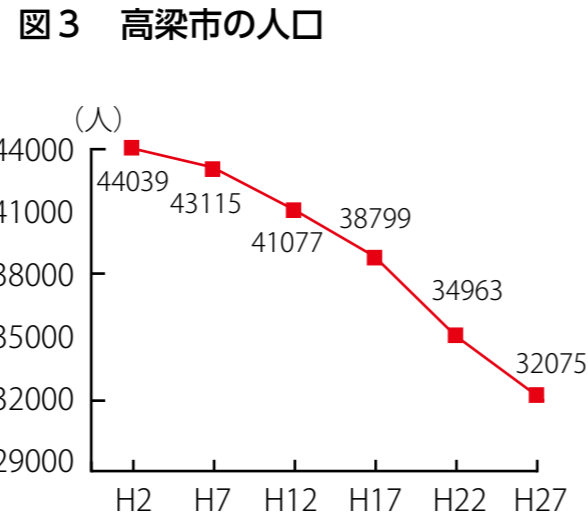
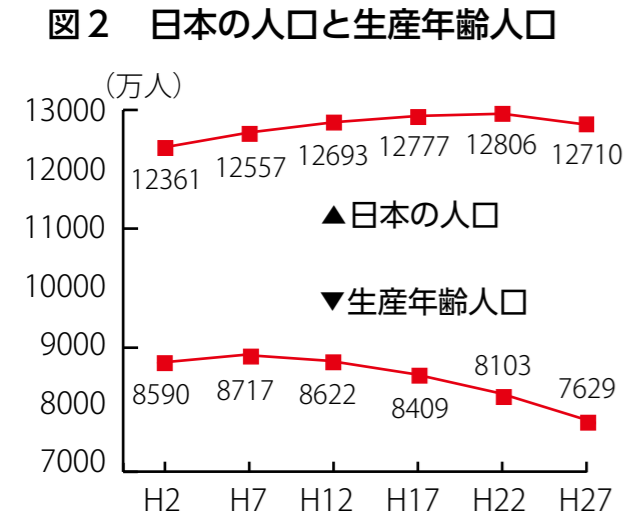
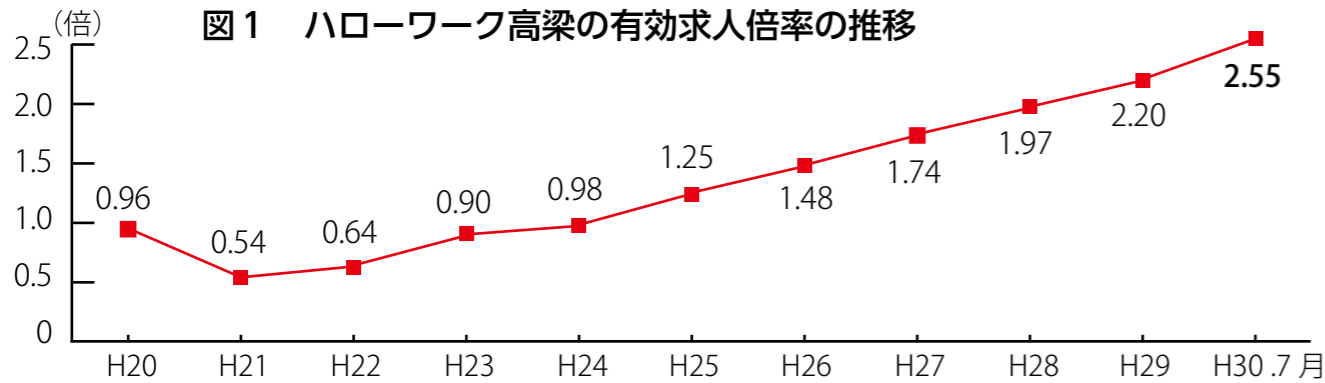


超高齢化時代に入りました日本の総人口は平成22年をピークに減少しています。平成27年の国勢調査によると、平成27年の総人口は約1億2700万人、労働者となる生産年齢人口(15歳~64歳)は約7629万人となっており、国の成長を担う労働者は貴重な存在となっています。

高梁市でも、求人数が高まる一方で働き手は徐々に減少しており、企業の雇用確保が厳しい状況にあります。

今月号では、高梁市の雇用の現状を、ハローワーク高梁や市の取り組み、企業などへのインタビューを交えながら紹介します。

産業観光課 ☎(21)02229



※総務省「平成27年国勢調査」による人口推移(図2・図3)